

## キャップ(森町)と榛葉鉄工所(掛川)

# 作業支援スーツに部品供給

県西部の自動車関連メーカー2社が開発した部品がこのほど、奈良市のアクティブリンクが手掛ける作業支援機器「パワーアシストスーツ」に採用された。いずれも新素材を使った軽さが特徴。2月29日に浜松市中区のホテルで開かれた講演会で、両社の社長らが製品概要を説明して技術力をアピールした。

部品を供給したの ション推進機構の新素  
は、浜松地域イノベーター 材事業化研究会メンバ



ーで、金型製造のキャ  
ップ(森町、高井三男社  
長)とマフラー製造の  
榛葉鉄工所(掛川市、榛  
葉貴博社長)。体に装着  
して使用するパワーア  
シストスーツは、手足  
の動きを感知してモー  
ターが作動し、身体へ

パワーアシストスーツに部  
品を供給した高井三男社長  
(左)と榛葉貴博社長

＝29日午後、浜松市中区

## 新素材で軽量化寄与

の負担を軽くする。キ  
ャップは炭素繊維と樹  
脂との複合材「CFR  
TP」製のギアとカバ  
ーケース、榛葉鉄工所  
はマグネシウム素材の  
フレームを供給した。

いずれの素材も鉄や  
アルミニウムより軽  
い。講演会でアクティ  
ブリンクの担当者は  
「軽さとコンパクトさ  
を追求した」と強調。  
スーツ全体の重量が試  
作段階に比べて約55%  
減った」とするデータ  
を示した。

榛葉社長は「二輪で  
培った技術やノウハウ  
が生かされた」と振り返  
り、高井社長は「今後、  
無人機や次世代カーの  
分野へも供給したい」  
と意欲を見せた。